

## 三脚機能付シューティンググリップ Shooting Grip With Mini Tripod Poignée de déclenchement avec mini-trépied 小型三脚架拍摄手柄

**取扱説明書**  
Operating Instructions  
Mode d'emploi  
Manual de instrucciones  
Manual de instruções  
Gebruiksaanwijzing  
Bruksanvisning  
Instruzioni per l'uso  
Manual de Instruções  
Οδηγίες λειτουργίας  
使用説明書

## GP-VPT1

© 2017 Sony Corporation

http://www.sony.net/

**MULTI**

4467976210

**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

カメラが充分に安定した状態で、落とさないようにグリップを取り付けます。

落下したカメラを破損したりけがの原因となることがあります。

**注意** カメラの重量を支える

制限重量1kg(電池その他含む)を超えると、グリップが倒れたりけがの原因となることがあります。三脚として使用するときは、載置重量を支える力と安定した脚部分が増える必要があります。

グリップとして使用するときは、必ずスラストアップを速して持ってください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用するときは、脚を完全に広げて、水平状態で使用してください。

カメラが転倒しないうちに、バランスを確認してから手を離してください。

一度、振動などで転倒前のその他の場所でのご使用は避けてください。

寒さ、湿り、液体がかかったりしないように注意し、扱ってください。

直射日光の当たることや微弱放射線そのほか温度の高いことや、湿気が多いところに長時間使用しないでください。

ご使用後はカメラからはずし、付属ポーチに収納して保管してください。

モードはコードラバーを使って整理してください。

マルチ端子を抜き差しするときは必ずプラグ部分をしっかりと抜き差ししてください。無理に抜き差しすると破損の恐れがあります。

**お手入れについて**

汚れたら、やわらかい布に中性洗剤溶液を含ませたふきでから、乾かしたあと拭き拭きしてください。

海岸など、蒸気の出る所で使用したあとは、乾いた布でよく拭いてください。

**特長**

脚を広げると三脚としてお使いいただけるグリップモンプです。

本機はソニーのマルチ端子付きカメラを操作することができます。ただし、すべてのカメラに対応しているわけではありません。

対応機種については、ホームページ、カタログのページを確認してください。

脚や持ち手、グリップに、自然な姿勢で撮影できます。また左右の両手でも持ちやすい設計です。

高いアングルから低いアングル、自分自身と様々なアングルで撮影できます。

三脚として安定した撮影ができます。

リモコンには撮影の基本機能(動画撮影、静止画撮影、ズーム)があります。

**各部の名前**

1 カメラネジ

2 カメラボス(可動式、2箇所)

3 カメラ台

4 角度調整ボタン

5 マルチ端子

6 START/STOP ボタン

7 PHOTO ボタン

8 ズームボタン

9 脚

10 脚部

11 スラストアップ

12 収納ポーチ

13 脚部

14 脚部

15 脚部

16 脚部

17 脚部

18 脚部

19 脚部

20 脚部

21 脚部

22 脚部

23 脚部

24 脚部

25 脚部

26 脚部

27 脚部

28 脚部

29 脚部

30 脚部

31 脚部

32 脚部

33 脚部

34 脚部

35 脚部

36 脚部

37 脚部

38 脚部

39 脚部

40 脚部

41 脚部

42 脚部

43 脚部

44 脚部

45 脚部

46 脚部

47 脚部

48 脚部

49 脚部

50 脚部

51 脚部

52 脚部

●ご使用のカメラにボス穴が無い場合は、カメラボスをしてから取り付けてください。

2 **カメラボス**を回して**カメラネジ**をゆるく締め、**カメラ台**を前面に動かして前後の**カメラネジ**を調整する。

3 **安定**するまで、**カメラボス**を止めるまで回してカメラ台を固定してください。この取扱説明書をよくお読みください。

4 **本機**のケーブルのマルチ端子をカメラのマルチ端子に接続する。コードが長い場合は、コードラバーに挿入してください。 (図-4)

ご注意

●マルチ端子には、それぞれ正しい挿入方向があります。カメラを取り付ける際は、故障の原因になりまうので、逆さで無理に挿入しないようにご注意ください。

●図(4)の形状のカメラのマルチ端子をさすときは、カメラのマルチ端子にカメラの本機のマルチ端子部分の1入を合わせてください。逆方向に無理に差し込むと、故障の原因になります。

**警告表示の意味**

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、障害のその他の事故によりけがや財産的損失の原因になり得る場合があります。

**注意** 注意を促す記号 行為を禁ずる記号 行為を指示する記号

**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

カメラが充分に安定した状態で、落とさないようにグリップを取り付けます。

落下したカメラを破損したりけがの原因となることがあります。

**注意** カメラの重量を支える

制限重量1kg(電池その他含む)を超えると、グリップが倒れたりけがの原因となることがあります。三脚として使用するときは、載置重量を支える力と安定した脚部分が増える必要があります。

グリップとして使用するときは、必ずスラストアップを速して持ってください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用するときは、脚を完全に広げて、水平状態で使用してください。

カメラが転倒しないうちに、バランスを確認してから手を離してください。

一度、振動などで転倒前のその他の場所でのご使用は避けてください。

寒さ、湿り、液体がかかったりしないように注意し、扱ってください。

直射日光の当たることや微弱放射線そのほか温度の高いことや、湿気が多いところに長時間使用しないでください。

ご使用後はカメラからはずし、付属ポーチに収納して保管してください。

モードはコードラバーを使って整理してください。

マルチ端子を抜き差しするときは必ずプラグ部分をしっかりと抜き差ししてください。無理に抜き差しすると破損の恐れがあります。

**お手入れについて**

汚れたら、やわらかい布に中性洗剤溶液を含ませたふきでから、乾かしたあと拭き拭きしてください。

海岸など、蒸気の出る所で使用したあとは、乾いた布でよく拭いてください。

**特長**

脚を広げると三脚としてお使いいただけるグリップモンプです。

本機はソニーのマルチ端子付きカメラを操作することができます。ただし、すべてのカメラに対応しているわけではありません。

対応機種については、ホームページ、カタログのページを確認してください。

脚や持ち手、グリップに、自然な姿勢で撮影できます。また左右の両手でも持ちやすい設計です。

高いアングルから低いアングル、自分自身と様々なアングルで撮影できます。

三脚として安定した撮影ができます。

リモコンには撮影の基本機能(動画撮影、静止画撮影、ズーム)があります。

**各部の名前**

1 カメラネジ

2 カメラボス(可動式、2箇所)

3 カメラ台

4 角度調整ボタン

5 マルチ端子

6 START/STOP ボタン

7 PHOTO ボタン

8 ズームボタン

9 脚

10 脚部

11 スラストアップ

12 収納ポーチ

13 脚部

14 脚部

15 脚部

16 脚部

17 脚部

18 脚部

19 脚部

20 脚部

21 脚部

22 脚部

23 脚部

24 脚部

25 脚部

26 脚部

27 脚部

28 脚部

29 脚部

30 脚部

31 脚部

32 脚部

33 脚部

34 脚部

35 脚部

36 脚部

37 脚部

38 脚部

39 脚部

40 脚部

41 脚部

42 脚部

43 脚部

44 脚部

45 脚部

46 脚部

47 脚部

48 脚部

49 脚部

50 脚部

51 脚部

52 脚部

53 脚部

54 脚部

55 脚部

56 脚部

57 脚部

58 脚部

59 脚部

60 脚部

61 脚部

62 脚部

63 脚部

64 脚部

65 脚部

66 脚部

●ご使用のカメラにボス穴が無い場合は、カメラボスをしてから取り付けてください。

2 **カメラボス**を回して**カメラネジ**をゆるく締め、**カメラ台**を前面に動かして前後の**カメラネジ**を調整する。

3 **安定**するまで、**カメラボス**を止めるまで回してカメラ台を固定してください。この取扱説明書をよくお読みください。

4 **本機**のケーブルのマルチ端子をカメラのマルチ端子に接続する。コードが長い場合は、コードラバーに挿入してください。 (図-4)

ご注意

●マルチ端子には、それぞれ正しい挿入方向があります。カメラを取り付ける際は、故障の原因になりまうので、逆さで無理に挿入しないようにご注意ください。

●図(4)の形状のカメラのマルチ端子をさすときは、カメラのマルチ端子にカメラの本機のマルチ端子部分の1入を合わせてください。逆方向に無理に差し込むと、故障の原因になります。

**警告表示の意味**

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、障害のその他の事故によりけがや財産的損失の原因になり得る場合があります。

**注意** 注意を促す記号 行為を禁ずる記号 行為を指示する記号

**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

カメラが充分に安定した状態で、落とさないようにグリップを取り付けます。

落下したカメラを破損したりけがの原因となることがあります。

**注意** カメラの重量を支える

制限重量1kg(電池その他含む)を超えると、グリップが倒れたりけがの原因となることがあります。三脚として使用するときは、載置重量を支える力と安定した脚部分が増える必要があります。

グリップとして使用するときは、必ずスラストアップを速して持ってください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用する場合は、必ず水平な場所においてください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用する場合は、必ず水平な場所においてください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用する場合は、必ず水平な場所においてください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。

切った手の指の先端に刺さるなど、口に入れないように注意する。万一、刺さってしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

グリップの角度を調整するときは、安全のため脚部分に指を掛けないでください。またカメラを片方の手でしっかり持て、落とさないように注意してください。

グリップの角度を調整するときは、角度調整ボタンを確実に押し込んでから使い、再度調整ボタンが押されていない場合は、角度調整ボタンを押してください。

三脚として使用する場合は、必ず水平な場所においてください。

カメラが横または斜めに倒れて固定する際の脚の付加が難しく、すべたりはすたしたりして、カメラの破損やけがに負わせる原因となることがあります。

脚の開閉、グリップの角度調整には充分な注意を払う必要とはなりません。思わぬけがの原因となることがあります。

**注意** 脚の先端および脚端物を、乳幼児の手が届く範囲に放置しないでください。



